



# 関中央ロータリークラブ

## 2016-2017 WEEKLY REPORT



**例会日** 毎週木曜日 18時30分

**例会場** 関観光ホテル（関市池尻91-2）

**事務局** 関市西本郷通5-2-53 TEL0575-24-7332・FAX0575-23-5278

**会長**：石原 妙生 **副会長**：川村 紳一 **幹事**：波多野 篤志 **クラブ会報委員長**：吉田 和也

2016～2017年  
国際ロータリー会長  
ジョン F. ジャーム

ロータリーで何か発見を！

2016～2017年度 関中央RC会長テーマ

四つのテスト  
・真実かどうか  
・みんなに公平か  
・好意と友好を深めるか  
・みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第1903回例会 2017年6月22日（木）

クラブ創立記念例会 担当 会長・幹事・親睦活動委員会

### 前例会の記録

第1902回 2017年6月15日（木）

C. A 反省と次年度への提言

担当 会長・幹事

\*ロータリーソング「我等の生業」 斉唱

\*お客様紹介

東海北陸道グループガバナー補佐 横山隆一郎様

\*会長あいさつ 石原妙生会長

今年も梅雨の季節になりました。幸い今のところは良いですが、しばらくの間、じめじめとした天気になりそうです。気持ちは晴れのつもりで、あと少しの残された任期を元気に乗り切りたいと思います。

さて、本日は年度終わりということで、横山ガバナー補佐をお迎えしての例会で、クラブアッセンブリー「本年度の感想と次年度への提言」の題で行います。各委員長に発表を頂き最後にガバナー補佐に公表を頂くことになっていますので、私からも一年の感想をお話しします。

まず、昨年7月の例会時に上げた4つの方針についてですが、一つ目の「充実した例会作り」は、親



睦を図りながら出席率を上げる前提とし、先輩会員の小話や定期的に懇親を図る親睦例会的な会を行い、和やかな雰囲気作りを意識しました。

二つ目の「会員増強」は、年4回開催の特別役員会時に委員長に出席をお願いし、年間を通じて意識を持って行った結果、目標の3名増を達成しました。

三つ目の「地区の行事に会員が積極的に出席する」では、皆さんに主旨を御理解頂き、地区大会・地区協議会等へ沢山出席を頂き、地区大会は親睦旅行を兼ねて行い良い思い出になりました。

四つ目の「行った事業を広報し、ロータリーの認知度を上げる」は、全部の事業を新聞等に掲載する予定でしたが、主なものだけになってしまいました。

次に主な事業についてですが、何と言っても今年度は40周年の記念事業で有ります。10月の記念事業、2月の式典、5月の記念誌発行と予定通り全てうまく事が運び、関中央の結束力・底力を感じました。

もう一つは台湾との国際交流事業です。12月の高校生の交流での訪台、2月には記念式典のため来日された南隆の会員との交流、5月には南隆の記念式典への出席、単年度で3回も台湾の方々と交流が出来た事は、今後の交流活動にきっとプラスになると

信じております。

次年度へ向けては、我々のクラブは市民を巻き込んだ良い事業をしていますので、全事業をメディアに広報して頂きたいです。又、事業費用も考え、財団の補助金を活用した事業の実現に向けて、具体的な取り組みを期待します。

#### \* C. A 反省と次年度への提言

##### ・職業奉仕委員会 古田育則委員長

職業奉仕セミナーが2月5日にありました。その感想を一言申し上げます。研修のセミナーの資料を頂きましたが、5項目に分かれておりまして、1項目が「職業奉仕はなぜ分かりにくいのか」というテーマでした。職業奉仕は分かりにくいということを物語っているものだと思います。また4つ目の項目に4つのテストは職業奉仕の実践指導だと書いてありました。4つのテストは書いてあることはよく分かるのですが、だから実際に職業奉仕はどうしたらよいのかというと、残念ながら分からなかったです。

今回、提言という言葉がありますが、会員の職業をもっと知る機会が欲しかったと思っています。分かっているようで分かっていないというか、皆さんの仕事が多様なことをやっていらっしゃるのか知る機会がもっとあったらよかったと思っています。会社見学・訪問をさせていただくとか、I・G・Mでロータリーのことだけでなく、皆さんの仕事の勉強もしたかったと思っています。

##### ・社会奉仕委員会 神谷秀幸委員長

我が委員会の活動は毎年恒例となっている事業を継続して行って、新規事業はありません。今日はガバナ補佐の横山様の訪問ということで、その事業内容を簡単に紹介します。

始めに、毎年11月第1日曜日(6日)に行われる森林整備事業、関市迫間のふどうの森で地元の「里山ネットワークぎふ・ふどうの森クラブ」(10名)の指導の下、関商工インターアクトクラブ会員(12名)、関中央ロータリークラブ会員と家族(13名)、総勢35名の参加で山もみじの苗木の植林作業を行う、朝8時40分開始セレモニー後作業に入る、一時間半ほど



で作業は終了、楽しいバーベキューの準備に入る、コンニャク作り、おにぎり、焼き芋、焼きそばなど、それぞれ担当して食事の準備をする。自分たちで作った食事をほおぼりながら交流し親睦を深める。最後は食べきれなかった焼き芋、おにぎりを土産に解散となる。

二つ目の事業は11月第2土曜日(12日)に行われる「長良川流域連携クリーン作戦」に参加、長良川の上流から下流域までそれぞれの流域の住民、企業、諸団体、行政が連携して長良川流域全体で効果的な清掃活動を行うというもので、我がクラブは関市池尻池区(関観光ホテル前)を担当し、長良川環境レンジャー協会(3名)と連携し、関中央ロータリークラブ会員(10名)、地元のスポーツ少年団(23名)、関市生活環境課職員(3名)、岐阜県環境保全課職員(3名)、フェザー剃刀ボランティア有志(5名)、総勢47名で午前10時開始セレモニーを行い清掃活動に入る。作業は一時間ほどで終了し、クラブからおにぎりとお茶を配って河原で食べてクリーン作戦は終了した。

三つ目の事業は毎年6月第1日曜日(4日)に行われる長良川流域一斉環境調査に参加、この事業は長良川の環境保全を図るため、流域の住民と一緒に清掃活動や環境調査を行い、河川の愛護の普及に努めるというもので、今年19回目ということで、我がクラブは参加して15回になります。この事業は長良川の流域10箇所で一斉に清掃活動と環境調査を行うというもので、我がクラブはクリーン作戦と同じ関観光ホテル前を担当し、クラブ会員(13名)、地元のスポーツ少年団(17名)、関商工インターアクトクラブ会員(18名)、関市担当課職員(3名)、長良川環境レンジャー協会(5名)、総勢56名の参加で、午前9時、開始セレモニー後、清掃活動を行い、10時から長良川環境レンジャー協会の指導で環境水質調査を行った。調査の結果、長良川の水のきれいさを再認識しました。

以上が今年度社会奉仕委員会の活動内容です。我がクラブの奉仕活動の重点は40周年記念事業でもわかるように、環境保全と青少年育成であります。社会奉仕委員会の三事業とも環境と青少年が関わった内容で、また、地域の諸団体との連携も大切にしたい

素晴らしい活動だと思います。

ここで、この活動の反省点として、各事業の中で高校生を含む青少年との交流がなされているか、地域の諸団体との連携ができているかを考えると少し不安もあります。

そしてもう一つ、ロータリーの研修会などでよく言われることは、ロータリーの事業として継続されるのは5年以内が望ましい、ロータリーは新規事業の開拓も大切である。と言われますが、今我々の行っている事業からロータリーが手を引いたらすぐになくなってしまおうと思います。難しい問題かと思いますが、少しずつ改革していく必要があるかもしれません。

#### ・国際奉仕委員会 山田文夫委員長

今年度国際奉仕委員会にご協力を頂きありがとうございました。お蔭で無事務めることが出来ました。



次年度も引き続き担当する事になりました。宜しくお願い致します。台湾南隆ロータリークラブとの交流並びに関商工高等学校、景文高校の交流事業は当クラブのメイン行事になっていますので、引き続き活発な交流が図られるように努めて参りたいと思います。

今年度も関商工高等学校11名の生徒、服部副校長先生及び佐賀先生と景文高校へ訪問して参りました。生徒たちも良い体験が出来たことと思います。

次年度は受け入れる年になりますので、落ち度がないように準備したいと思います。一層のご協力をお願い致します。

この事業を続けるには経費がかかります。予算をどう確保するのが今後の課題になると思います。皆様と相談し、今後も続けられる様取り組んで参りたいと思います。

#### ・40周年記念実行委員会

##### 川上勉委員長

今日は反省と次年度への提言とありますが、40周年記念実行委員会は皆さんへの感謝しかありません。



前年度、石原会長より40周年記念実行委員長に指名されました。わけあって断る事が出来ず快諾しま

した。早速、委員会組織作りに入り、山本義樹さんを記念事業部門長に、古田博文さんを式典・祝賀部門長に、神谷秀幸さんを広報・渉外・記念誌部門長にお願いして、組織編成案及び40周年記念事業コンセプト案を理事・役員会、例会にて承認して頂き後、何回・何回もの会合を重ね準備を進めて参りました。お陰を持ちまして、各部門長のリーダーシップと会員の皆さんのご協力により、関中央RCらしい、素晴らしい40周年記念事業が成功裏に終了したと自負しています。感謝の気持ちで一杯です。

今日は、3名の部門長の感想及び思いを報告して頂きたいのですが、時間の都合により創立40周年記念誌「絆」の発行を担当して頂きました神谷秀幸さんに発言して頂き、40周年記念実行委員会の報告とさせていただきます。

#### ・広報・渉外・記念誌部 神谷秀幸部門長

関中央ロータリークラブ創立40周年記念誌発刊にあたり、関中央ロータリークラブ創立40周年記念ということで、記念事業、記念式典共素晴らしい内容で盛大に行われました。記念誌委員会としても、その記録を記録誌に残しておかねばと思い、次の3つのことに気を配り編集しました。

①表紙について、実行委員会の思いが一目でわかるようにしたい。

②事業内容を分かりやすく紹介するため写真を多くしました。

③参加者全員の顔写真が漏れのないよう気を配りました。

今回の記念誌作成に当たり、記念事業のカメラマンをして頂きました小澤重忠さん、写真の構成では古田博文さんには大変お世話になりました。多くの皆さんのご協力のおかげで無事発刊できました。ありがとうございました。

#### ・助言及び総評

##### 東海北陸道グループガバナー補佐 横山隆一郎様

皆さんこんばんは。昨年の7月にお邪魔させて頂いた時のことを思い出しておりました。事業計画を拝見させて頂き、本当に立派なクラブだと感じた記憶がございます。今日お話しを聞いてお



りまして、石原会長の一言に象徴されているという風に思いました。それは「私達の底力を発揮できた」という言葉です。底力が発揮できたという風に、会長自ら仰るといことは、全ての事業が、皆様の努力・協力により円満に円滑に達成できたというその証ではないかと思っております。総評や提言など私が申すまでもなく、皆様方が本当に関中央RCの誇りを持っているという話も出ましたが、皆様方がそう思えるというクラブというのは羨ましい限りでございます。私のクラブもぜひそうありたいと思っております。

「底力」ということでふと思い出した事があります。岐阜南RCが創立70周年を迎えられました。岐阜南RCは、かつて約180名の会員がおられました、60名程まで会員数が減少しました。これで70周年は迎えられないと、とにかく100名にしようと大変な努力をされました。式典の時には100名に達しておりました。実に40名近く増員されたわけです。それが岐阜南RCの底力だと、会長の仰る「底力」という言葉から思い出したわけであります。今後共、「底力」を発揮して頂き、その延長線上にますますご尽力いただければと期待しております。一年間お世話になりました。ご協力ありがとうございました。

#### **\*出席委員会**

会員数32名、本日の出席19名です。

#### **\*ニコボックス委員会**

・ガバナー補佐 横山隆一郎様  
一年間お世話になりました。本日も宜しく願い致します。

・会長・副会長・幹事

本日のプログラム、C. アssenブリー 反省と次年度への提言です。各奉仕委員長様宜しく願いします。

・次期ガバナー補佐 伊佐地金嗣君

横山ガバナー補佐様、ご来訪を歓迎致します。今期ご苦労様でした。

・広瀬恒行君

約6ヶ月ぶりの例会出席です。いろいろご心配をかけましたが、何とか出歩けるようになりました。

20名のご投函ありがとうございました。

#### **\*メイクアップ報告**

6/9 美濃RC例会 小澤重忠君

6/14, 15 各務原かかみのRC例会、郡上八幡RC例会（ガバナー補佐訪問随行）伊佐地金嗣君

#### **<次例会の案内>**

第1904回 2017年7月6日（木）

通常総会・懇親会

担当：会長・幹事・親睦活動委員会